

# 交通網・都市基盤整備調査特別委員会 報告資料

令和2年8月21日

報告事項件名	頁
(1) 第1回花畑周辺地域公共交通検討会の開催結果について . . . . .	2
(2) つくばエクスプレスと日暮里・舎人ライナーの輸送実績について . . . . .	10
(3) 竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について . . . . .	12

(都市建設部)

# 交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和2年8月21日

件名	第1回花畑周辺地域公共交通検討会の開催結果について								
所管部課名	都市建設部交通対策課								
内容	<p>第1回花畑周辺地域公共交通検討会（以下「検討会」という。）を開催したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 開催概要</p> <p>(1) 日 時 令和2年7月30日（木）午後7時～午後8時</p> <p>(2) 場 所 桜花亭2階会議室</p> <p>(3) 会員名簿 別紙1参照 P3～5</p> <p>2 主な議題</p> <p>(1) 検討スケジュールについて</p> <p>(2) バスの運行経路の検討について（参考資料1～3参照 P7～9）</p> <p>(3) 意見交換</p> <p>3 主な意見 別紙2参照 P6</p> <p>4 今後の予定</p> <table border="1" data-bbox="395 1339 1422 1727"> <thead> <tr> <th>年 月</th> <th>主 な 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年8月</td> <td>運行ルートに対する花畑地区町会自治会連合会等への聞き取りを実施</td> </tr> <tr> <td>令和2年8月下旬</td> <td>第2回検討会 ・ 運行ルート案のしぼり込み</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月</td> <td>第3回検討会 ・ 運行計画案の検討 ・ 運行計画案に対する利用アンケートの検討</td> </tr> </tbody> </table>	年 月	主 な 内 容	令和2年8月	運行ルートに対する花畑地区町会自治会連合会等への聞き取りを実施	令和2年8月下旬	第2回検討会 ・ 運行ルート案のしぼり込み	令和2年9月	第3回検討会 ・ 運行計画案の検討 ・ 運行計画案に対する利用アンケートの検討
年 月	主 な 内 容								
令和2年8月	運行ルートに対する花畑地区町会自治会連合会等への聞き取りを実施								
令和2年8月下旬	第2回検討会 ・ 運行ルート案のしぼり込み								
令和2年9月	第3回検討会 ・ 運行計画案の検討 ・ 運行計画案に対する利用アンケートの検討								
問題点 今後の方針	引き続き、バスの検証運行の実施に向け、検討会の中で運行経路や便数などを定めた運行計画案の検討を進めていく。								

## 花畑周辺地域公共交通検討会会員名簿

別紙 1

	団体名	会員区分
1	仲組三丁目町会	会 長
2	榎戸町会	副会長
3	東保木間町会	副会長
4	花畑七丁目団地自治会	要綱第3条（1）会員
5	花畑団地自治会	
6	ベルドゥムール竹の塚自治会	
7	仲組四丁目町会	
8	保木間第五団地自治会	
9	桑袋団地自治会	
10	外ヶ原町会	
11	エステート花畑自治会	
12	堤根町会	
13	会組町会	
14	花畑第五都住自治会	
15	南花畑自治会	
16	前通り町会	
17	保木間 11 自治会	
18	保木間五丁目自治会	
19	花畑八丁目団地自治会	
20	鷺宿町会	
21	花畑四丁目都住自治会	
22	花畑西町会	

	団体名	会員区分
23	南花畑下沼町会	要綱第3条(1) 会員
24	花畑第三団地自治会	
25	花保親交町会	
26	水神町会	
27	原町会	
28	名地共和会	
29	名地町会	
30	在家町会	
31	前保木間親睦町会	
32	保木間四丁目自治会	
33	足立区医師会	
34	鷺宿平成クラブ	
35	地域包括支援センターはなはた	
36	地域包括支援センター保木間	
37	地域包括支援センターーツ家	
38	花保商店会	
39	株式会社サンベルクスホールディングス	
40	花畑中学校PTA	
41	花畑北中学校PTA	
42	東武バスセントラル株式会社	要綱第3条(3) 会員
43	日立自動車交通株式会社	
44	株式会社新日本観光自動車	

	団体名	会員区分
45	都市建設部長	要綱第3条（4）会員
46	花畑区民事務所長	
47	花畑区民事務所地域担当係長	
48	花畑区民事務所地域担当係長	

主な意見

※ 関係団体…高齢者、医療機関、商業施設、学校等団体の構成員のこと

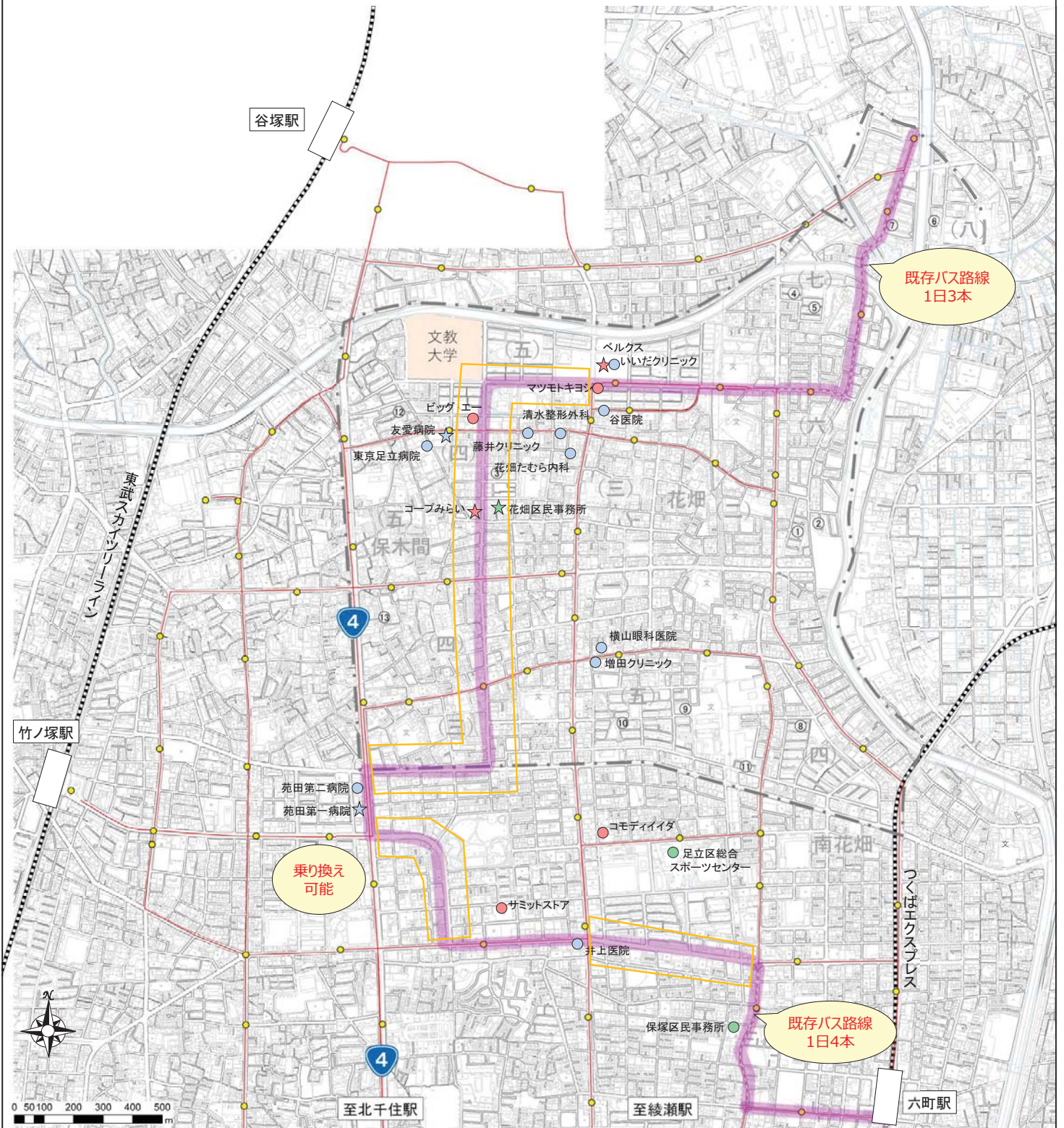
項 目	発言者	意 見
運行経路案について	町会・自治会 代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大鷲さくら橋から南下し、まっすぐ（大鷲通りを 経由して）六町駅に向かう経路はできないか。</li> <li>・ 現在は乗換えが必要であり、区役所に行くのが大 変という声も多い。区役所までバスを通すことは 可能か。</li> <li>・ 案①の経路で六町駅まで向かい、帰りはつくばエ クスプレス直上の道路から花畑桑袋団地に向か う循環経路はいかがか。</li> <li>・ いずれの案も六町駅まで遠回りして向かっている が、時間がかかるバスは利便が悪く、必要性を感じない。</li> <li>・ 既存の路線バスへの乗り継ぎはうまくできるか。</li> <li>・ ぜひ花畑の町会・自治会の意見を優先してあげて ほしい。</li> </ul>
	関係団体 ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花畑桑袋団地バス停から南下する道路は狭い。大 鷲さくら橋が開通すれば、広い道路を通ることが できる。その場合、埼玉県を一部通ることになる が、問題ないか。 (バス事業者に特段問題ないことを確認した。)</li> </ul>
運賃等について	町会・自治会 代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り継ぎが可能とあるが、シルバーパスが利用で きない場合は運賃が倍になる。</li> </ul>
	関係団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者が多い地域であるため、シルバーパスが使 えるよう検討してほしい。</li> <li>・ 台東区コミュニティバスの「めぐりん」は、シル バーパスは利用できないが1回100円で乗車 でき、(特定のバス停では1回に限り)無料で乗 り継ぎもできる。</li> </ul>
運行本数について	町会・自治会 代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の路線バスをみても、1時間に1本程度では あてにならない。</li> </ul>
その他	町会・自治会 代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たなバスを検討するばかりではなく、既存の路 線バスの本数を増やすことも考えるべきと思う。</li> </ul>

凡例

- 既存バス路線
- 既存バス停
- 既存バス路線と重複しない区間
- 公共施設
- 商業施設
- 医療機関
- 都営住宅(①~⑬)
- ☆ 特によく行く施設

	案①
距離	約7.0km
所要時間*	約32分
既存バス路線と重複しない距離	約3.2km

※ 竹15、竹15-2、竹16、竹16-2の平均運行速度13km/hで計算

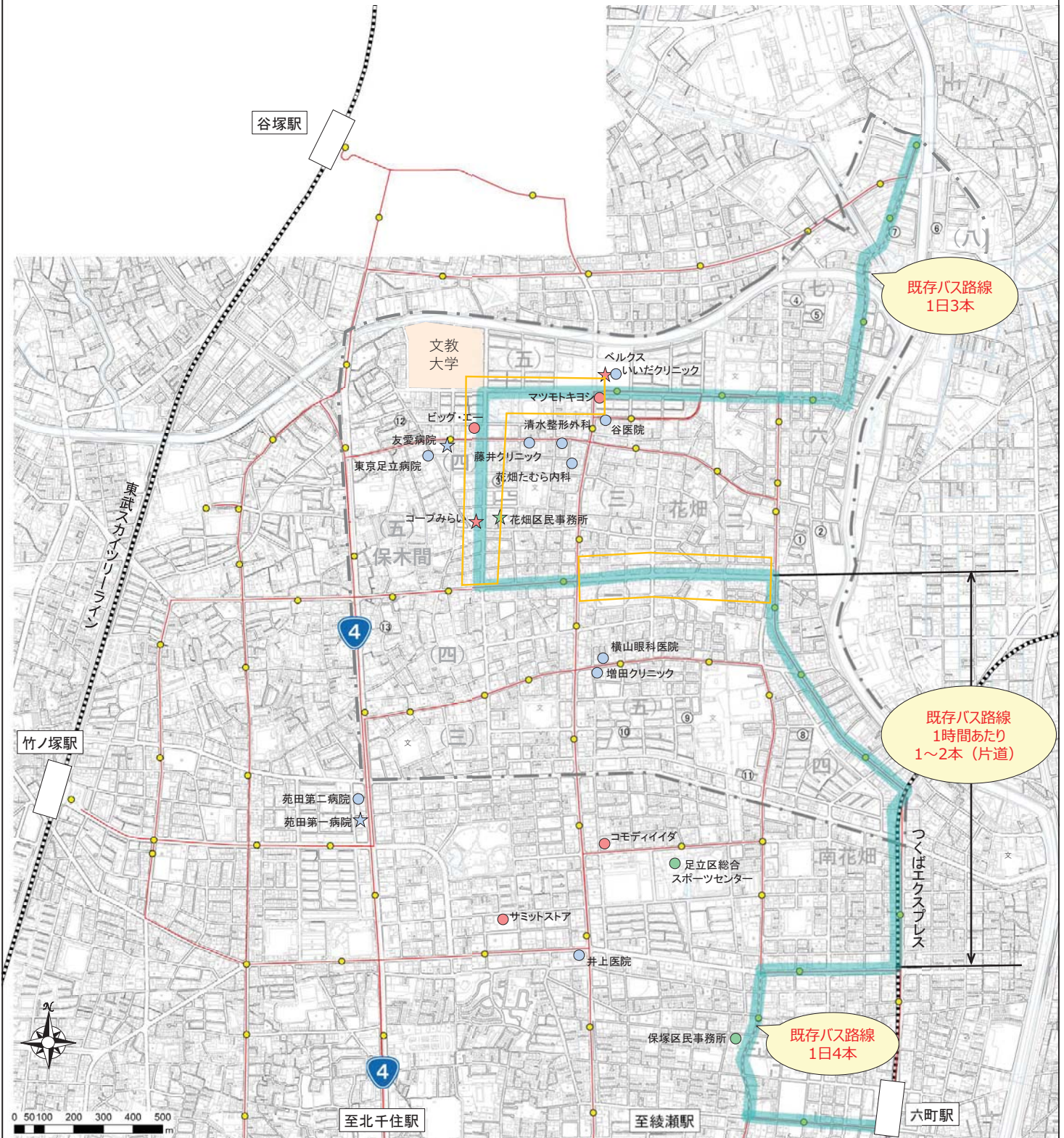


凡例

- 既存バス路線
- 既存バス停
- 既存バス路線と重複しない区間
- 公共施設
- 商業施設
- 医療機関
- 都営住宅(①~⑬)
- ☆ 特によく行く施設

	案②
距離	約7.0km
所要時間*	約32分
既存バス路線と重複しない距離	約1.6km

\* 竹15、竹15-2、竹16、竹16-2の平均運行速度13km/hで計算





# バス運行経路案 比較表

参考資料 3

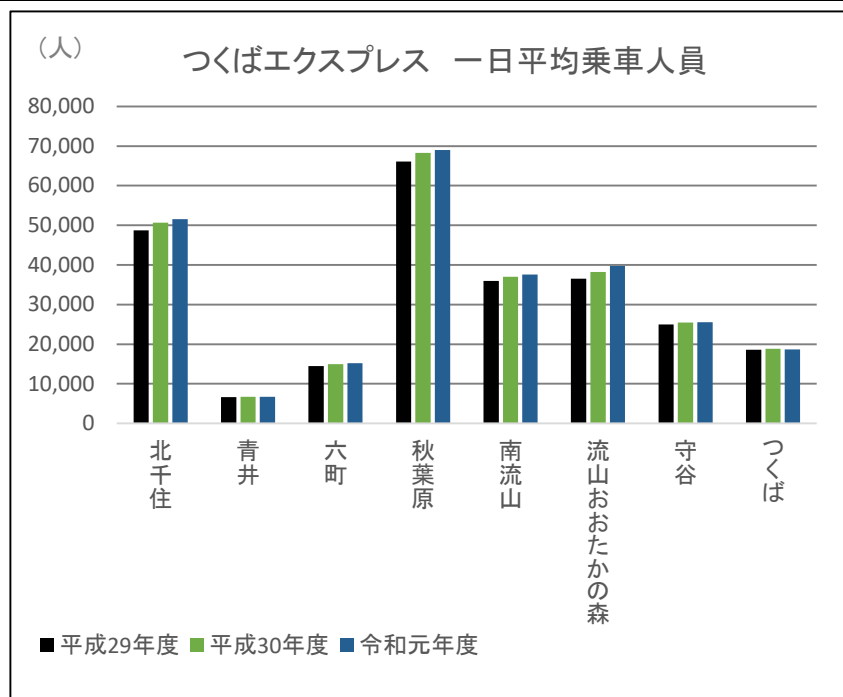
項目	案①	案②
運行経路		
起終点	花畑桑袋団地 ~ つくばエクスプレス六町駅	
運行経路の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>花畑地区の施設集積地を經由</li> <li>バス路線がないエリアを經由</li> <li>北千住駅、竹ノ塚駅、区役所行きへ乗り換え可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花畑地区の施設集積地を經由</li> <li>バス便数が少ない東側のエリアを經由</li> </ul>
運行距離	約7.0km	約7.0km
運行時間	約32分	約32分
路線周辺の商業施設数	5	4
路線周辺の医療機関数	6	3
路線周辺の公共施設数	2	2

※上記の商業施設、医療機関、公共施設数は、既存アンケートに基づき、不便を感じる人がよく行く施設を抽出。

# 交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和2年8月21日

件名	つくばエクスプレスと日暮里・舎人ライナーの輸送実績について																																				
所管部課名	都市建設部交通対策課																																				
内 容	<p>つくばエクスプレス及び日暮里・舎人ライナーの令和元年度実績について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 つくばエクスプレスの令和元年度輸送実績 (首都圏新都市鉄道株式会社提供)</p> <p>(1) 年間輸送人員 (平成31年4月～令和2年3月) 1億4,311万人 (平成30年度 1億3,974万人 2.4%増)</p> <p>(2) 一日平均輸送人員 39万5千人 (平成30年度 38万6千人 9千人増)</p> <p>(3) 主要駅別の一日平均乗車人員 (単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="454 1205 1230 1776"> <thead> <tr> <th>駅名</th> <th>R元年度</th> <th>H30年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北千住</td> <td>51,540</td> <td>50,643</td> <td>48,741</td> </tr> <tr> <td>青井</td> <td>6,680</td> <td>6,718</td> <td>6,651</td> </tr> <tr> <td>六町</td> <td>15,231</td> <td>14,916</td> <td>14,462</td> </tr> <tr> <td>秋葉原</td> <td>68,955</td> <td>68,291</td> <td>66,070</td> </tr> <tr> <td>南流山</td> <td>37,560</td> <td>37,030</td> <td>35,913</td> </tr> <tr> <td>流山おおたかの森</td> <td>39,714</td> <td>38,194</td> <td>36,491</td> </tr> <tr> <td>守谷</td> <td>25,559</td> <td>25,461</td> <td>24,959</td> </tr> <tr> <td>つくば</td> <td>18,671</td> <td>18,849</td> <td>18,606</td> </tr> </tbody> </table>	駅名	R元年度	H30年度	H29年度	北千住	51,540	50,643	48,741	青井	6,680	6,718	6,651	六町	15,231	14,916	14,462	秋葉原	68,955	68,291	66,070	南流山	37,560	37,030	35,913	流山おおたかの森	39,714	38,194	36,491	守谷	25,559	25,461	24,959	つくば	18,671	18,849	18,606
駅名	R元年度	H30年度	H29年度																																		
北千住	51,540	50,643	48,741																																		
青井	6,680	6,718	6,651																																		
六町	15,231	14,916	14,462																																		
秋葉原	68,955	68,291	66,070																																		
南流山	37,560	37,030	35,913																																		
流山おおたかの森	39,714	38,194	36,491																																		
守谷	25,559	25,461	24,959																																		
つくば	18,671	18,849	18,606																																		



2 日暮里・舎人ライナーの令和元年度輸送実績(東京都交通局提供)

(1) 年間輸送人員 (平成31年4月～令和2年3月)

3,321万人

(平成30年度 3,243万人 2.4%増)

(2) 一日平均輸送人員

9万1千人

(平成30年度 8万9千人 2千人増)

※ 国土交通省より公表される混雑率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、10月頃に公表予定の為、公表され次第、報告する。

問題点  
今後の方針

1 TX沿線区市と連携し、首都圏新都市鉄道株式会社に対し、8両化事業の早期実現と、その間の混雑対策についても、引き続き要望する。

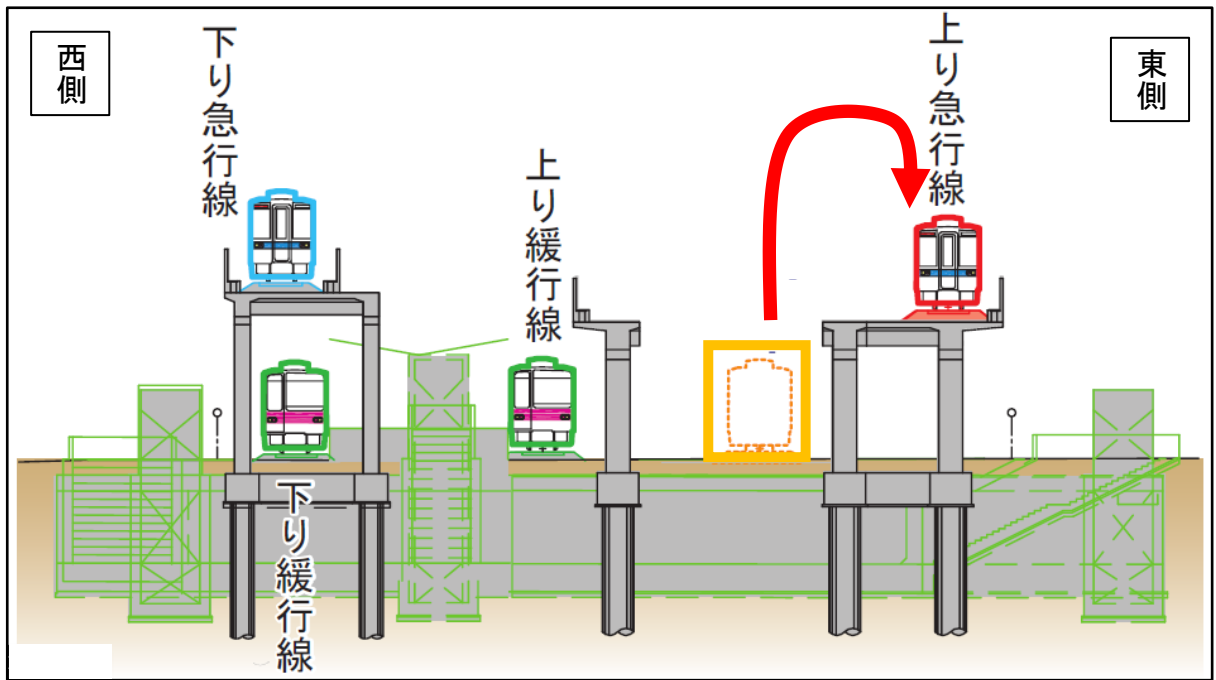
2 日暮里・舎人ライナーについては、通勤、通学時の混雑緩和対策及び新型車両への更新が速やか、かつ確実に進むよう東京都へ引き続き要望する。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和2年8月21日

件名	竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について
所管部課名	鉄道立体推進室竹ノ塚整備推進課 鉄道関連事業担当課
内容	<p>東武伊勢崎線（竹ノ塚駅付近）連続立体交差事業の上り急行線高架化について、以下のとおり報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 上り急行線の切替予定（別紙1参照 P13） 令和2年9月下旬の終列車後に切替工事を行い、翌日の初列車から高架橋の使用を開始する。</li> <li>2 踏切形態の変更（別紙2参照 P14） 上り急行線の高架化に伴い、2か所の踏切とも緩行線のみとなるため、渡る距離が短くなる。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第37号踏切（駅南側） 約32メートル → 約18メートル</li> <li>(2) 第38号踏切（駅北側） 約25メートル → 約14メートル</li> </ol> </li> <li>3 区民及び駅利用者へのお知らせ 工事日決定後、あだち広報、区ホームページ及び駅情報コーナー等による周知を行う。</li> </ol>
問題点 今後の方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 鉄道事業者との連携や国・都の積極的な協力を得て、早期の完成を目指す。</li> <li>2 着実な事業の進捗に向けて、国庫補助金等の財源確保に努める。</li> </ol>

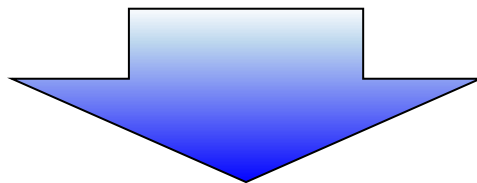
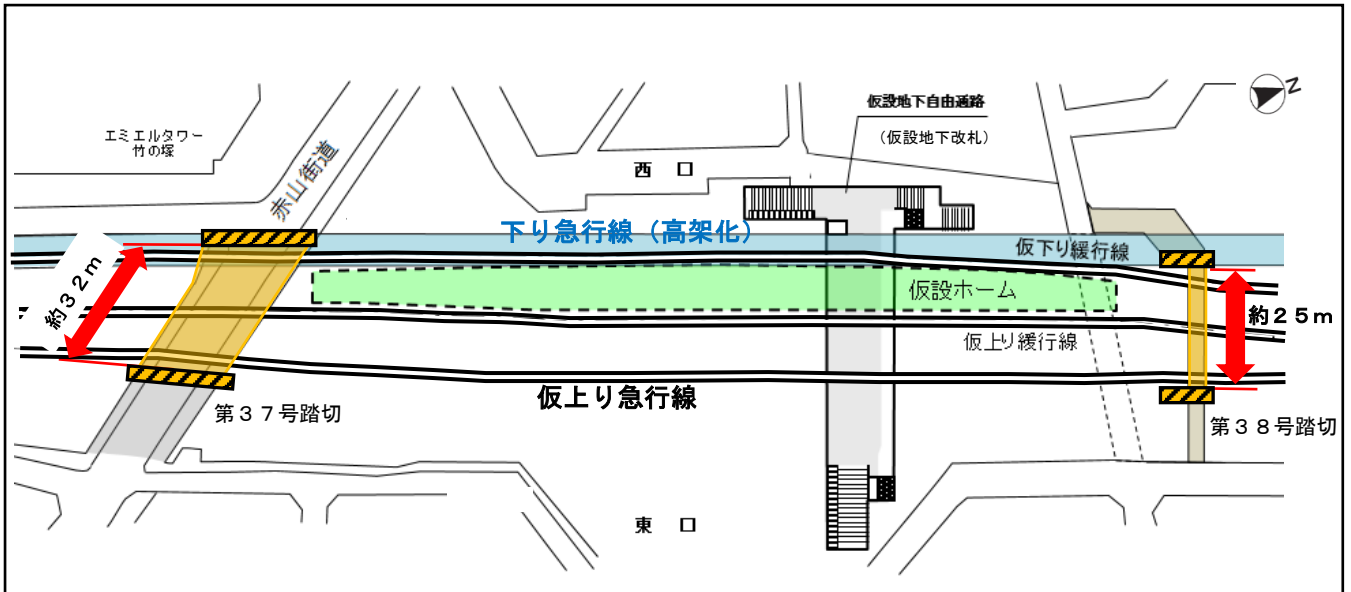
【高架化断面図（駅部）】



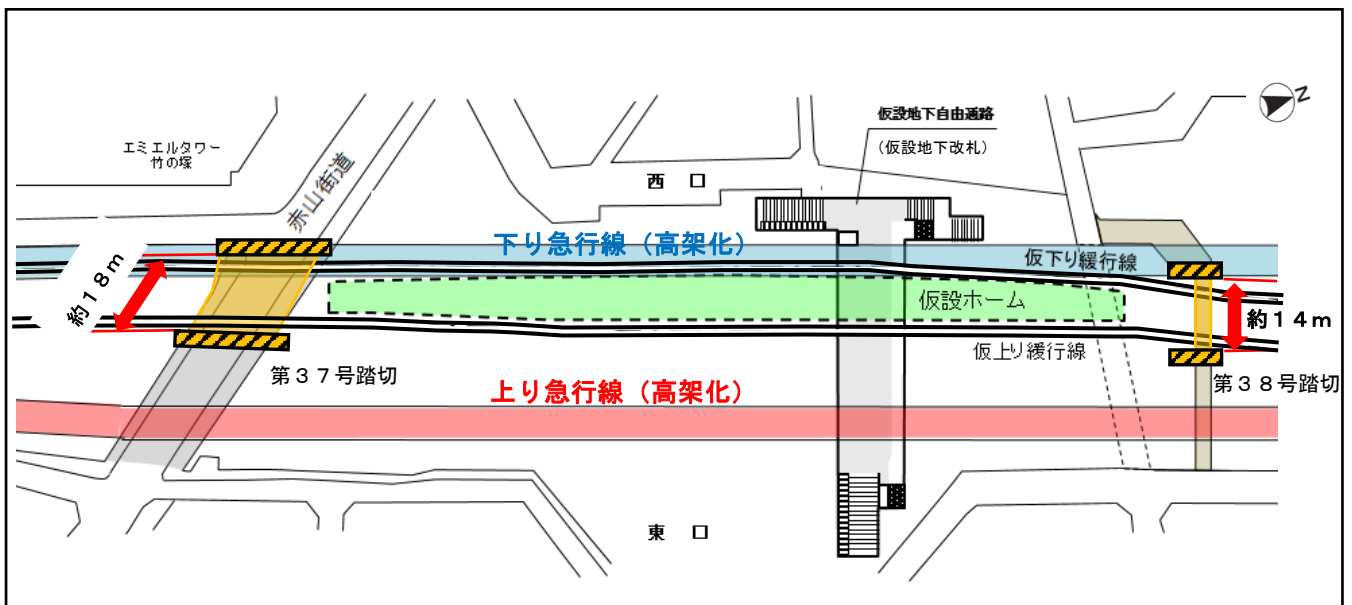
駅付近：西新井方より赤山街道・竹ノ塚駅を望む

【踏切形態の変更図】

〔現在〕



〔上り急行線高架化後〕



《 凡 例 》

踏切内	
遮断機	